議長（生田目久夫君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次，16番石崎拓也君の発言を許します。

〔16番 石崎拓也君登壇〕

16番（石崎拓也君） 16番石崎拓也でございます。それでは，通告に従いまして，質問をさせていただきます。

初めに，市街化整備についてご質問いたします。

市町村合併と同じ時期に日立電鉄線が廃止となり，多くの市民の方々が，大変不便で寂しい思いになられたことと思います。そこで市民の方々が期待しているのが，地域の発展と活性化であります。我が市は，広大な面積により，きめ細やかな公共機関の整備がおこなわれているのが現状であります。多くの市民の方々は，毎日水戸方面，日立方面へ通勤・通学されていますが，その足として，JR水郡線及び路線バスを利用，それ以外のほとんどの方々は，自家用での通勤・通学であります。時間帯には，国道349，349バイパス，県道が渋滞してしまい，時間に追われ，大変な思いで通われております。

県道常陸那珂港山方線の，小島町と那珂市門部を結ぶ仮称木島橋の早期実現に向けて工事が進められていますが，県では，予算がなく，完成時期は平成22年ごろとの返答ですが，市内の主要幹線道路の整備を早急に整備しなければなりません。

先日開通しました常磐新線つくばエクスプレス（TX）の開通により，各駅周辺整備等により，発展に多くの方々が期待をしております。日立電鉄線が廃止となり，常陸太田市には，ありがたいことに，JR太田駅，谷河原駅，河合駅の3駅があります。しかし，最近，JR太田線を利用する人が年々減少して，廃止なんてならないことに，今からしっかりとJRの3駅を利用した施策として，駅周辺整備を，まずは駐車場・駐輪場の整備，あわせて349から木島橋までの主要幹線道路の整備であります。

沿線の方々はもちろん，旧水府，旧金砂郷から通われる方々も利用していただき，安心して通勤・通学できるように，ひいてはJRの増員増便につながり，また，道路の渋滞緩和とNOxの削減を図る必要があるのではないかなと思います。ぜひとも，常陸太田市の南の玄関口として整備をしなければならないと思いますが，お考えをお伺いいたします。

続きまして，宮の郷工業団地誘致についてご質問申し上げます。

緑豊かな希望の持てる工業団地が完成をし，多くの企業進出を住民の方々は期待をしてこられました。あれから10年が過ぎようとしております。旧金砂郷議会でも，過去に企業誘致活動を行った経緯がありますが，残念ながら実現しませんでした。

現在，1社の企業が進出しておりまして，景気低迷，海外進出と，厳しい状況にあるのが現実であります。優良企業の進出が望めないのが現状であります。最近，ありがたいことに，進出を希望する業者がふえてきているとのことですが，ほとんどの企業が産業廃棄物，リサイクル施設であります。以前にも，茨城新聞に掲載された記事の内容は，疑問を問いかけた記事でありました。以前，同僚議員からも掲載についてご質問がございましたが，現在，私が聞いているところでは，宮の郷へ進出計画申請中の企業があり，1社はア

スファルトリサイクル施設，もう1社は廃材チップリサイクル施設，そのほかに，進出事
前打ち合わせ企業があり，1社は，私がよく存じ上げている会社でありまして，汚泥リサ
イクル施設であります。もう1社は，PCB処理施設の計画があると聞いております。

宮の郷工業団地は，公的な施設であり，産業廃棄物リサイクル法の基準どおりの施設で
あれば，すべてクリアしてしまいます。1社でも認めれば，すべてのリサイクル施設が進
出可能になります。宮の郷工業団地全体が産業廃棄物リサイクル施設になってしまい，地
域住民の方々の安全性はもとより，農産物の被害，歴史と伝統ある常陸太田市全体のイメ
ージダウンになってしまいます。ごみの常陸太田市になってしまう懸念があります。その
ところ，どのように考えておられるかお伺いいたします。

先ほどの議員との質問が重複してしまう点がございます。ご答弁，よろしく願い申し
上げまして，1回目の質問を終わります。

議長（生田目久夫君） 答弁を求めます。建設部長。

〔建設部長 榊勝雄君登壇〕

建設部長（榊勝雄君） 駅周辺整備についてお答えをいたします。

常陸太田駅，谷河原駅，河合駅周辺整備につきましては，これまでに常陸太田駅周辺に
市で整備いたしました駐車場，時間利用の37台，月決め73台，駐輪場につきましては
200台規模，それから，谷河原駅に駐輪場100台規模，河合駅に駐車スペースとして
50台規模の整備を行い，JR水郡線の利用促進に努めてきたところでございます。

今後の整備計画につきましては，地元の要望や意見を聞くとともに，利用状況等を確認
し，次年度から県が実施いたします県北臨海都市圏都市交通戦略策定調査の中で，水郡線
常陸太田市内3つの駅の駐車場，駐輪場の整備の必要性を位置づけを行いまして，パーク
アンドライド，サイクルアンドライドによる水郡線への利便性の向上と利用促進に努めて
いきたいと考えております。

それから，関連いたしまして，主要幹線道路の整備について質問がございました。南部
地区の中で，谷河原駅周辺地区につきましては，市道の磯部天神林線，これは茨城県の合
併市町村幹線道路緊急整備の支援事業として指定を受けておりますので，今年度中に概略
設計を行いまして，早期に工事に着工できるように事業に取り組んでまいりたいと考えて
おりますし，また，河合駅周辺地区でございますが，南部地域の東西を結び，道路網の整
備・拡充を図るため，県がこの地域の道路整備計画につきまして，調査検討を進めている
ところでございます。

さらには，議員ご発言のように，この周辺地区では，常陸那珂港山方線を初め，和田上
河合線，富岡玉造常陸太田線の改良拡幅工事も進められております。今後も，市民の通勤・
通学，買物等，市民生活向上のため，これら駅周辺整備とあわせまして，主要幹線道路の
整備促進に取り組んでまいりたいと考えております。

議長（生田目久夫君） 産業部長。

〔産業部長 沼田久雪君登壇〕

産業部長（沼田久雪君） 宮の郷工業団地誘致について、3点のご質問にお答え申し上げます。

現在、宮の郷工業団地の用地について、県事業推進課に引き合い、あるいは希望している企業の内容といたしまして、大宮市分も含めましてですが、製造業を中心に7社となっている状況がございます。1つが、アスファルト・コンクリート再生処理の施設、それから、建設系廃木材の破碎処理関係の施設、豆腐製造関係、プラスチック原料製造、廃プラスチック再生処理施設、厨房機器関係、そしてあと、希望がある企業として、PCB処理施設の立地について話がある状況でございます。業種については、製造業関連が3社、リサイクル関連企業が4社となっている状況にあるわけでございます。

宮の郷工業団地への企業誘致に関する考え方といたしましては、すぐれた立地環境と低い分譲価格、マーケットに近く、アクセスのよさなどの良好な立地に加え、自然災害が少ない、大量物流が可能、恵まれた自然環境等をセールスポイントとして、推進をしているわけでございます。

また、誘致対象企業に関しましてですが、雇用機会の拡大や地域イメージの向上なども重要な点でありますから、条件といたしまして、優良企業であること、それから地元雇用等にもつながること、循環型社会を形成する社会環境にありますので、これらに配慮した企業であることなどを考慮して誘致に努めてまいりたいと考えております。

いずれにしましても、安全安心というものを、そういう企業の判断基準というのになりますが、こういうのも十分に考慮しながら、誘致に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

議長（生田目久夫君） 16番石崎拓也君。

〔16番 石崎拓也君登壇〕

16番（石崎拓也君） ご答弁ありがとうございました。2回目の質問をさせていただきます。

駅周辺整備等につきましては、同僚議員の質問にて常陸太田駅は理解をしましたが、地域活性化とJR水郡線の利用促進の観点から見ますと、3駅の全体と主要幹線道路を含めた総合的な考えのもと、計画立案をしていただきたいと思います。

そこで、予算面ですが、先ほど、同僚議員からも出ていましたように、国土交通省の中に補助金がございます。まちづくり交付金ですが、執行部の方もご存じかと思えます。私なりに調べた範囲で申し上げますが、都市再生整備計画による道路・河川・公園整備・駅開発事業、駅舎も含むわけですが、空き店舗活用事業、地域防災施設、博物館、コミュニティバス事業、子育て支援センター、耐震診断等、ほかにも該当する補助がありますが、補助率が60と私は理解しているんですけども、合併交付金と絡めれば、95%の補助率でありまして、有利な補助でありますので、ぜひ常陸太田市の総合計画の「ほっとタウンひたちおおた」に早急に取り入れていただきたいと思います。そしてまた、18年度の予算にも間に合えば、取り入れていただきたいと思います。

整備開発につきましては、地域の皆様や多くの地権者の方々のご理解・ご協力をいただきまして、十二分な説明をし、総合計画の中に、地域の活性化対策と、ＪＲ水郡線の利用促進と市民の利便性確保ということで、ぜひ早急に調査をし、検討に入っていただきたいとお願い申し上げます。大久保市長に、ＪＲ水郡線の利用促進と地域活性化の観点から、お考えをお聞きしたいと思います。

宮の郷工業団地ですが、県では工業団地誘致促進を積極的に行っておりますが、厳しい経済状況の中で、なかなか望めないのが現状であります。常陸那珂港へは重機メーカーでありますコマツの進出が決まりまして、常陸太田市民の雇用が望まれると思います。宮の郷への進出にはまだまだ時間がかかるとは思いますけれども、我が市といたしましても、雇用の確保と税収入の観点から、独自の工業団地のＰＲ活動を行う必要があるのではないかなと思います。市のホームページ等でも全国に発信をし、我が市の取り組む姿勢をＰＲ掲載をし、市民全体で誘致活動の機運を盛り上げて、雇用の場の確保、税収不足の改善、地域の活性化につながるのではないかなと考えております。

再質問の答弁をよろしくお願い申し上げます、私の一般質問を終わります。

議長（生田目久夫君） 答弁を求めます。市長。

〔市長 大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君） ２回目の石崎議員のご質問にお答えをしたいと思います。

まず第１点は、ＪＲ常陸太田線の存続等に絡んだ駅前周辺の整備ということで、ご提案がございましたように、谷河原、あるいは河合駅等も含んだ計画について検討する価値があるというふうに判断をいたしますので、その辺については、今後の検討課題とさせていただきます。

さらに、常陸太田駅の開発整備に関しましては、やはりＪＲ線の存続をしていくためには、乗降客がふえることが何よりも大事な要件だというふうに理解をいたしておきまして、整備その他も含めまして、例えばパークアンドライド方式で、太田の住民の方が水戸方面に通勤・通学等をされる方に対しまして、駐車場あるいは駐輪場の使用料金等でインセンティブをつけるとか、そんなことも含めて、今後検討していく必要があるだろうというふうに思っているところでございます。

２点目の、工業団地への企業の誘致に関しましては、議員おっしゃられるとおり、もっと積極的に企業立地に向けて行動していく必要があります。県の開発公社等とも相談をいたしまして、市のホームページ等の掲載が妥当であるかどうかも含めまして、検討をさせていただきますというふうに思う次第であります。

以上でございます。